

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	サービス介助
科目基礎情報				
開設学科	医療事務科	コース名		開設期 通年
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数 15時間
単位数	1単位			授業形態 演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。			
担当教員情報				
担当教員	山下 恵子	実務経験の有無・職種	有・看護師、救命救急士	
学習目的				
サービス介助とは、高齢の人や障がいがある人を手伝うときの「おもてなしの心」と「介助技術」を学び、相手に安心していただきながら手伝いができる人のことである。相手を思いやる気持ちと。高齢者や障がい者への介護技術を学ぶことを目的とする。				
到達目標				
サービス介助として、高齢、聴覚障がい者、車いす利用者、視覚障がい者への対応方法を理解する。				
教育方法等				
授業概要	サービス介助として、高齢、聴覚障がい者、車いす利用者、視覚障がい者への対応方法を説明する。			
注意点	授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状況により、内容が前後する場合がある。			
評価方法	種別	割合	備 考	
	試験・課題	80%	試験と課題を総合的に評価する	
	小テスト	0%		
	レポート	0%		
	成果発表 (口頭・実技)	0%		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	ガイダンス	サービス介助の意味について理解できる		
2回	高齢者への理解（1）	高齢者への対応方法について理解できる		
3回	高齢者への理解（2）	認知症について理解できる		
4回	高齢者への理解（3）	疑似体験を通じて白内障について理解できる		
5回	聴覚障がい者への理解（1）	聴覚障がいについて理解できる		
6回	聴覚障がい者への理解（2）	聴覚障がい者への対応方法が理解できる		
7回	聴覚障がい者への理解（3）	疑似体験を通じて聴覚障がいについて理解できる		
8回	車いす利用者への理解（1）	車いす利用について理解できる		
9回	車いす利用者への理解（2）	車いす利用者への対応方法が理解できる		
10回	車いす利用者への理解（3）	疑似体験を通じて車いす利用について理解できる		
11回	車いす利用者への理解（4）	疑似体験を通じて車いす利用について理解できる		
12回	視覚障がい者への理解（1）	視覚障がいについて理解できる		
13回	視覚障がい者への理解（2）	視覚障がい者への対応方法について理解できる		
14回	視覚障がい者への理解（3）	疑似体験を通じて視覚障がいについて理解できる		
15回	視覚障がい者への理解（4）	疑似体験を通じて視覚障がいについて理解できる		